



オオスミ (横浜市瀬谷区)
代表取締役社長

1968年に創業した先代は当時、ボイラー用清缶剤の販売に携わっていた。高度成長期に入り、大気汚染や河川・海の水質汚染が公害という社会問題となり、自治体はこの公害にかかわる調査業務などを民間企業に外注しはじめた。「環境測定・分析、建設コンサ

神奈川 建聞録

おすみ 大角 たけし 武志 さん

ルタントという今日の業務形態を確立したのは、このころに時流を読んだ先代のおかげ」と話す。

議会の理事を務め、委託業務に最低制限価格を設定することを、横浜市など神奈川県内の自治体に陳情している。

現在は、土壌汚染調査やアスベスト含有測定のほか、節電など省エネにかかわるコンサルタント、国発注やJICA関連の海外での環境分析に力を入れている。

「計測で得たデータは、その数値の正確さが大事。計測機器の運用状況や分析技術者の技術力などを、実際に見て確かめてほしい」と自信を見せる。

「本年度は東日本大震災の被災地支援を行う方針を固め、甚大な被害を受けた被災地の日も早い復興を願いつつ、「各種調査のお手伝いのため、現地へ乗り込むタイミングを伺っている」と話す。「国から正式に要請を受ければ、速やかに赴きたい」と陸奥へ思いを馳せる。神奈川県出身、45歳。(横浜支局) 中村正哉

神奈川県環境計量協

村正哉